

古河電工 「らくらくアルミケーブル」 メガソーラー発電所採用

古河電気工業とCCF（本社：川崎市黒須光明社長）は16日、高機能型低圧アルミ導体CVケーブル「らくらくアルミケーブル」がメガソーラー発電所に採用されたと発表した。作業効率の改善に加え、ケーブルの盗難防止の観点から選ばれた。らくらくアルミケーブルは、導体にアルミ、絶縁被膜に柔軟性

架橋ポリエチレンを採用。銅導体CVケーブルに比べ、質量が同サイズで約半分、曲げやすさが約3倍といった特長がある。軽量かつ柔らかく取り回しやす

いことから、狭いトランフの中においても容易に接続処理ができる。端末処理を効率よく施工できる圧縮・圧着端子や端子台などの専用工具を「らくらくアルミケーブルシステム」として提案してきた。これまで電気工事をはじめ、仮設電源工事など100件を超える建設現場で実績を重ねている。